

予定プログラム (※2018年6月28日現在。予告なく変更になる場合もございますので、予めご了承ください。)

時間	セッション内容	講師
13:30 - 14:15	自動車OEMとサプライヤーのこれからの協業モデル — 脱系列！ オープン型の設計データ授受 このセッションでは、自動車OEMの変革動向、OEMとサプライヤーの業務プロセスの変化、そしてその変化に対する対策を考察します。系列型の業務プロセスが崩壊し、グローバルに標準化されたオープンな情報連携が始まる中、サプライヤーにおける具体的な課題を提起します。	シーメンスPLMソフトウェア オートモーティブ営業本部 ビジネスディベロップメント部 ディレクター 日原 進介
14:15 - 15:00	オープン型業務プロセスを支える3Dマスター・バックボーン オープン型の業務プロセスを支える、3Dマスターデータ管理とモデルベース・エンジニアリングの仕組み作りについてご説明いたします。弊社のPLM「Teamcenter」によるNXデータだけでなくCATIAデータの管理など、3Dマスターデータを十二分に活かせる方法をご紹介します。	シーメンスPLMソフトウェア ハイテク&マシナリ営業本部 ビジネスディベロップメント部 ディレクター 黒木 大助
15:00 - 15:15	休憩	
15:15 - 15:45	日本における3D軽量データの活用 — 推進における方向性とその活動計画について このセッションでは、自動車OEMとサプライヤーのデータ授受に関連して、ISO標準の軽量3D「JT」の動向についてご紹介します。日産自動車、本田技術研究所、三菱自動車、マツダ、デンソー、ポッシュといった、JT OPENメンバー企業が進める標準化活動と今後の動向について、過去2年に渡るユーザーによる討論内容に触れます。	シーメンスPLMソフトウェア 日原 進介
15:45 - 16:15	生技領域でマスター3Dをフル活用 — 既存の2Dと3D データを使い倒して効果出し(1) このセッションでは、グローバルな生産技術・準備のためのTeamcenter Manufacturingについて説明します。いかにして既存のデータを最大限活用して生産性を向上できるか、生産技術の視点からご紹介します。	シーメンスPLMソフトウェア ポートフォリオ開発本部 上席コンサルタント 五島 直
16:15 - 16:45	次世代のCAD技術で3D活用 — 既存の2Dと3D データを使い倒して効果出し(2) 次世代の自動車は、統合された設計・検証ツールによって、イノベーションに対する障壁を取り除くようなソリューションが必要となります。エレ・メカ連携はもちろんのこと、ジェネレーティブ・デザインやコンパージェント・モデリング、アディティブ・マニファクチャリングといった先進的な設計手法や、ARやVRといった最新技術を活用しつつ、CATIA V5の3Dモデルを含めた既存の2D・3Dデータをフル活用し、生産性を向上するプロセスをご紹介します。	シーメンスPLMソフトウェア プリセールス本部 PL技術課長 布施 泰志
16:45 - 17:00	自動車サプライヤーの皆様への特別ソリューション・パッケージ ご紹介 シーメンスでは、今回セミナーにご参加いただく自動車サプライヤーの皆様向けに、特別なオファリングのご提案をいたします。自動車OEMとのデータ授受を前提としたパッケージやキャンペーンのご案内をさせていただきます。	シーメンスPLMソフトウェア オートモーティブ営業本部
17:00 - 18:00	懇親会／商談会 ささやかながら懇親会を予定しております。セミナー中に聞けなかった質問も、こちらの時間でお受けします。ぜひ、お時間の許す限りご参加ください。	